

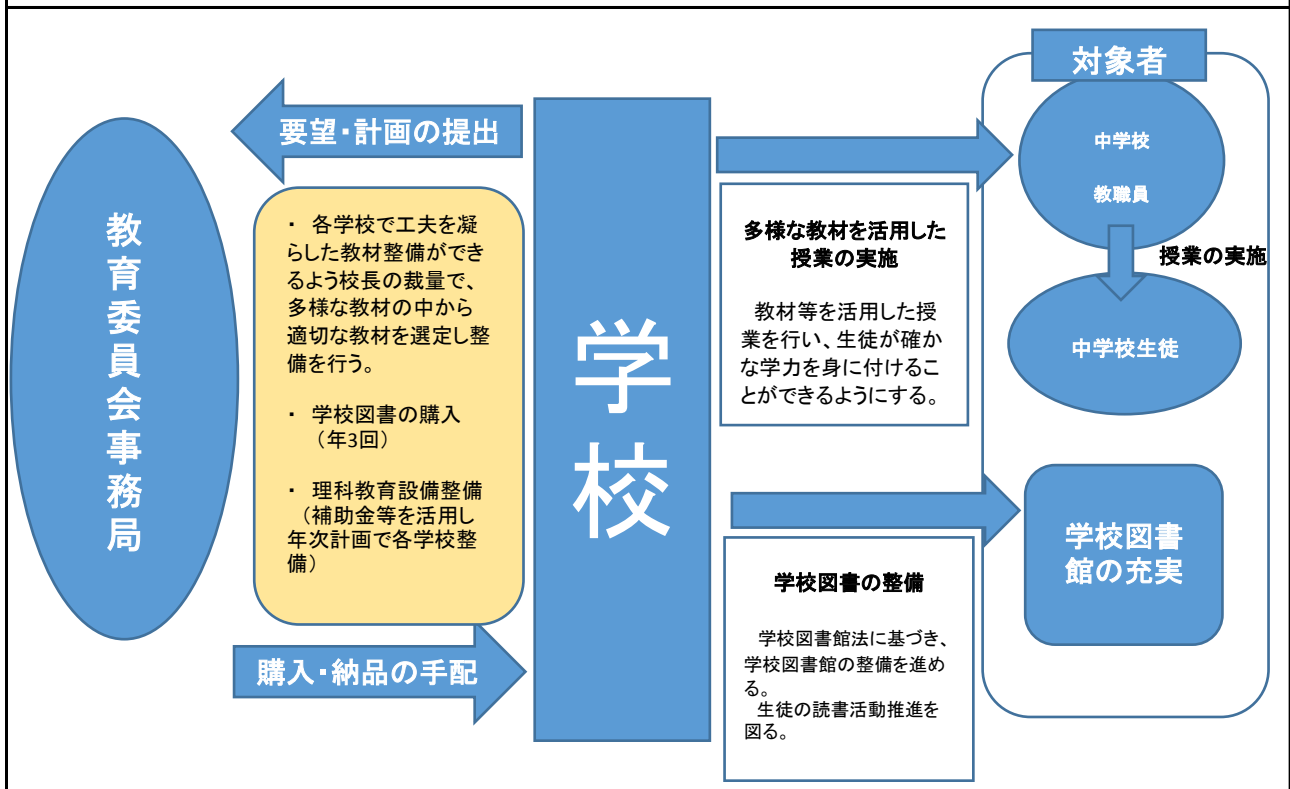
施策：小・中学校教育の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 中学校教材等整備事業	現状維持	予算額	21,375 千円
		《 》	20,907 千円
財源内訳	国庫支出金	2,000 千円	
	県支出金	0 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	0 千円	
	一般財源	19,375 千円	

【事業の目的・概要・対象】

- 対象者 市内中学校6校の生徒及び教職員
- 目的 教科学習等における教材を整備することにより、生徒の好奇心や探究心、論理的な思考力、表現力を養い、確かな学力を身に付けることができるようにする。
- 事業概要
 - ・各学校が工夫を凝らした教材整備ができるよう、校長の裁量で多様な教材の中から適切な教材を選定し整備する。
 - ・学校図書館法に基づき、学校図書館の整備をすすめる。（校長の裁量で選書）
 - ・理科教育振興法に基づき、理科教育備品の整備を進める。



【背景】

学習指導要領に対応した教材を整備することが必要である。特に重視されている基礎学力の確実な定着を図りながら、生徒の個性を伸ばし、特色のある学校づくりを進めていかなければならない。

担当課	教育委員会 学校教育課	問合せ先	0957-53-4111（内線379）
-----	-------------	------	---------------------

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	学校図書整備費	千円	4,474	4,512	4,512	4,512	4,512
②	理科教育設備整備費	千円	3,913	3,798	4,000	4,000	4,000

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	学校図書館蔵書率 (図書蔵書冊数/標準冊 【文科省設定】)	%	89.2	95	95	95	95
②	理科設備整備率 (理科設備現有額/基準額 【文科省設定】)	%	76.8	80.0	80.0	80.0	80.0

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	19,869	32,820	21,736	20,907	21,375	21,375	138,082
国庫支出金		1,982	1,957	2,000	2,000	2,000	9,939
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	19,869	30,838	19,779	18,907	19,375	19,375	128,143
人件費	910	831	1,211	1,756	1,171	1,171	7,050
職員	0.10人	0.10人	0.15人	0.23人	0.15人	0.15人	0.88人
時間外勤務 嘱託員	77	63	60	60	40	40	340
フルコスト	20,779	33,651	22,947	22,663	22,546	22,546	145,132

妥当性 (市の関与)	学校に備えるべき教育設備（教材教具）は、設置者がその経費を負担することになっており、各学校の実態に応じて所要の教材を確保し、教材の整備を進めなければならない。
有効性 (施策貢献度)	多様な教材を揃えることにより、授業等の充実が図れ、確かな学力を身につける上で有効である。
効率性 (コスト)	現状として、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり